



第4回長崎演奏会

5月24日(金) / 18:30

長崎市民会館・文化ホール

第16回定期演奏会

5月25日(土) / 14:00

シーハットおおむら・さくらホール

10周年記念レセプションを、
5月25日演奏会終了後17時から、
インターナショナルホテルで開
きます。出席希望の方は別紙で
FAXにてお申込下さい。

春よ春…。

黄砂舞う春ではありますが、花咲く春は気もそぞろ、屋外へ飛び出したくなるのは私ばかりではなく、飼い猫のクロッキーが家出してひと騒動。

さて、5月の定期演奏会はOMURA室内合奏団設立10周年を記念して、初代の音楽監督であった迫昭嘉さんを迎えて、現在アーティスティック・アドバイサーとして、情熱を注いでくださっている松原勝也さんとの共演です。

プログラムはオールメンデルスゾーン。なぜ？1809年生まれで1847年に亡くなっているから没後とか生誕の記念年でもないのに？

それは、「OMURA室内合奏団の特色を創るには、メンデルスゾーンのシンフォニアを」とアドバイスしてくださったのが迫さんだったからです。

第4回の定期演奏会からメンデルスゾーンの作品がとりあげられ、シンフォニアのみならず、有名なヴァイオリン協奏曲や、交響曲「イタリア」など演奏してきました。10年にしてOMURAの音色ができたと思われませんか？

メンデルスゾーンといえば、「歌の翼に」という懐かしい歌があります。

～うたーのつーばさーに、きみーをのーせて、、、。とても抒情的なメロディーなので、フルートやヴァイオリンでも演奏されますね。あっ忘れていました。結婚式で必ず流れる～ターンターターン、ターンターターン「結婚行進曲」も彼の作品です。

メンデルスゾーンはハンブルクの大変裕福な家庭に生まれました。したがってあちこち外国旅行も沢山しています。演奏会用序曲「フィンガルの洞窟」はスコットランドの孤島にある洞窟とまわりに荒れ狂う風と波があたかも絵画を観るかのように描写されており、交響曲「スコットランド」はヴィクトリア女王に献呈されています。彼自身バッキンガム宮殿でヴィクトリア女王夫妻を前に演奏したこともあるとか。外国ではイギリスが一番気に入っていたとか。

「ヴァイオリン、ピアノと弦楽のための協奏曲」は、わずか14才の時の作品です。

迫さんの指揮とピアノ、松原さんの弾き振り、コンサートマスターも各曲交替、などなど舞台の動きにもご注目。聴いて見て、さても楽しき五月のメンデルスゾーン。
～のがすまいぞー、のがすまいぞー～

芸術監督 村嶋 寿深子

OMURA室内合奏団10周年

これまでの歩みと NPOとしてのこれから

光田 明正

(NPO法人OMURA室内合奏団理事長)



「長崎にプロのオーケストラを作りたい」という村嶋寿深子シーハット館長の願いが、OMURA室内合奏団の発足の種子であった。第2回の定期で、早くも、聴衆が異口同音に「これはプロだ」と感想を示した。10年を経て、この基本的ビジョンは達成されたといえる。

プロであるためには集中的な技術的な訓練を始めに、多々たゆまぬ向上が求められる。10年間、団員は一生懸命に努めてきた。クラシックの音楽会には珍しく、シーハットのさくらホールでの定期演奏会は大体ほぼ満員になる。この努力が社会的に認知されている証左であろう。この成果の背後には、村嶋館長(OCE芸術監督)の限りない熱意とリーダーシップがある。団員一人ひとりの個性を把握し、親身に指導し相談にのる。合奏団が一つの有機体として活動するよう導く。またそのニューヨーク、東京で培ってきた蓄積により、ソリストには常に全国的、世界的に活躍している演奏家を迎える。

る。これはその時の演奏を充実したものにするばかりではなく、団員に「自分らは一流と競演する合奏団」という誇りを与える。迫昭嘉氏、松原勝也氏などが東京から出向いて指導にあたり指揮をする。今やお二人とも、パトロネージュ会員にとって「われらが大村の音楽家」である。

合奏団が成功し、存続するためには支える社会的基盤が不可欠である。いくら音楽がすぐれていても、聞き手がいなくては意味がない。パトロネージュこそが、合奏団のよって立つ基盤である。

現実の問題としては、財政的基盤をどのように確保するかが重要である。団員一同、この点についても留意し、パトロネージュ会員と一緒にとなって前進できれば幸である。

「プロの合奏団」という願望、一粒の種が、大樹に育つのを期待しよう!

春の定演

● 第4回長崎演奏会…5/24(金) 長崎市民会館

● 第16回定期演奏会…5/25(土) シーハットおおむら

若き二人のコンサートマスター

中西 弾

nakanishi dan



私は、8年前、長崎県新人発表演奏会に出演し、演奏を終えたあと村嶋さんに声をかけていただきOMURA室内合奏団に入団しました。そこから現在まで、村嶋さんの情熱にリードされ、また影響や刺激を受けながら団員と一緒に感動を共有してきました。いつしか応援して下さる方々も増え、みなさまと共にOMURAの音ができてきたように思います。

今思うと、私が生まれ育った長崎にオーケストラができ、しかも師匠や先輩と一緒に演奏ができること、音楽を通して意識を高め、共に成長していくことのできる場があることは本当に幸せなことだと感じています。

今年は、創立10周年という節目の年。これからも様々な作品に触れる中で、良いとか悪いとかではなくオリジナリティ溢れる「OMURAの音」を大切にして演奏していきます。どうぞ今後ともよろしくご支援願います。



藤木 修爾

fujiki shuji

今回の定演には、迫昭嘉氏と松原勝也氏というどちらもOMURA室内合奏団を語るには欠かせないお二人をソリストに迎えます。メンデルゾーン作曲《ヴァイオリン、ピアノと弦楽のための協奏曲ニ短調MW V.04》のコンサートマスターとして、オーケストラをまとめる立場にある私としては、格別の緊張と何よりも喜びを感じております。

迫、松原両氏がこのメンデルゾーンの作品を音として何をお客様にお伝えするのか、はたまた我々オーケストラがその内容をどこまで鮮明によみとり、どのように協奏してゆくのか、楽しみは一向につきません。このような機会を与えて下さった芸術監督と応援して下さる皆様へ、今一度感謝申し上げます。



定演では、迫昭嘉(ピアノ)氏との共演が楽しみな

松原勝也(ヴァイオリン)

チケット
絶賛
発売中!!

大人 3,500円

(長崎・自由席)
(大村・指定席)

■ OMURA室内合奏団演奏会情報

楽器略号 Vn: ヴァイオリン, Va: ヴィオラ, Vc: チェロ, Cb: コントラバス, Fl: フルート, Ob: オーボエ, Cl: クラリネット, Fg: ファゴット, Trp: トランペット, Perc: 打楽器, Pf: ピアノ, G: ギター, OCE: OMURA室内合奏団

演奏会・イベント／出演者	日 時	会 場	チケット	主 催
ホテル日航ハウステンボス ロビーコンサート 出演: 菅家恭子・齊藤享 (Vn), 池田文子 (Va), 下田直子 (Vc), 樋口芳美 (Cl), 種口敬明 (Fg)	4月20日(土) 19:00~19:40	ホテル日航 ハウステンボス ロビー	無料	ホテル日航 ハウステンボス
ラ・フォル・ジュルネ鳥栖音楽祭2013 プレ公演in嬉野アートリーチコンサート 出演: 中西弾・齊藤享 (Vn), 池田文子 (Va), 田辺清士 (Vc)	4月30日(火)	嬉野小学校 吉田小学校 塙田小学校	学校関係者のみ (児童・保護者等)	ラ・フォル・ジュルネ 鳥栖「熱狂の日」 音楽祭実行委員会
れきぶんコンサート 出演: 齊藤享・太田さあり (Vn), 池田文子 (Va), 田辺清士 (Vc)	5月4日(土) 16:00~16:45	長崎歴史文化 博物館 1Fエントランス	無料	長崎歴史文化 博物館
ホテル日航ハウステンボス ロビーコンサート 出演: 中西弾・前田純美加 (Vn), 藤木修爾 (Va), 光田聰子 (Vc), 池田祐希 (Fg)	5月4日(土) 開演時間未定	ホテル日航 ハウステンボス ロビー	無料	ホテル日航 ハウステンボス
福岡德州会病院ロビーコンサート 出演: 中西弾・齊藤享 (Vn), 池田文子 (Va), 田辺清士 (Vc)	5月11日(土) 13:00~	福岡德州会病院	無料	NPO法人 OMURA室内 合奏団
大野城まどかぴあロビーコンサート 出演: 中西弾・齊藤享 (Vn), 池田文子 (Va), 田辺清士 (Vc)	5月11日(土) 16:15~17:00	大野城まどかぴあ 1Fギャラリーモール		
0才からのクラシック 母の日コンサート 出演: 菅家恭子・川口千穂 (Vn), 長嶋拓生 (Va), 下田直子 (Vc), 亀子政孝 (Cb)	5月11日(土) 14:00~14:45	郡地区公民館 多目的室	7,000円	OMURA 室内合奏団を 支援する会
OMURA室内合奏団 10周年パーティー 出演: 藤木修爾・前田純美加・齊藤享・山本久美子 (Vn), 池田文子・鈴木優子 (Va), 田辺清士・光田聰子 (Vc), 亀子政孝 (Cb), 永留結花 (Fl), 西川千穂 (Ob), 坂口直子 (Cl)	5月18日(土) 18:00~	パークベルズ (大村市)		
ハマスカコンサート・ココウォークコンサート 出演: 菅家恭子・川口千穂・太田さあり・クリビタ恵美子 (Vn), 長嶋拓生・池田文子 (Va), 田辺清士・下田直子 (Vc), 亀子政孝 (Cb), 濱砂由美子・永留結花 (Fl), 坂口直子 (Cl)	5月19日(日)	浜市アーケード・ みらい長崎ココウォーク	無料	NPO法人 OMURA室内 合奏団
第4回長崎演奏会・第16回定期演奏会 出演: 追昭嘉 (指揮・Pf), 松原勝也 (Vn), OCE 曲目: オールメンデルスゾーンプログラム 序曲「フィンガルの洞窟」Op.26 ヴァイオリン、ピアノと弦楽のための協奏曲ニ短調MWV O4 交響曲第3番イ短調Op.56「スコットランド」MWV N18	5月24日(金) 18:30開演 (18:00開場)	第4回長崎 (全席自由) 長崎市民会館 文化ホール	大人 3,500円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増) ※発売中	(財)大村市 振興公社 / NPO法人 OMURA 室内合奏団
	5月25日(土) 14:00開演 (13:30開場)	第16回定期 (全席指定) シーハットおおむら ・さくらホール		
ホテル日航ハウステンボス ロビーコンサート 出演: 中西弾・藤木修爾 (Vn), 長嶋拓生 (Va), 田辺清士 (Vc), 亀子政孝 (Cb)	6月15日(土) 開演時間未定	ホテル日航 ハウステンボスロビー	無料	ホテル日航 ハウステンボス
スクールコンサート in 雲仙市 出演: 中西弾・菅家恭子・前田純美加・太田さあり (Vn), 池田文子・齊藤享 (Va), 田辺清士・下田直子 (Vc), 亀子政孝 (Cb), 濱砂由美子 (Fl), 樋口芳美 (Cl), 種口敬明 (Fg)	6月17日(月) ～ 6月21日(金)	雲仙市内の 8中学校	学校関係者のみ (生徒・保護者等)	(財)長崎県 教職員互助 組合

演奏会・イベント／出演者	日 時	会 場	チケット	主 催
ホテル日航ハウステンボス ロビーコンサート 7/20(土), 8/17(土), 9/21(土), 10/19(土), 11/16(土), 12/22(日) ※原則毎月第3土曜の夕方	詳細未定	ホテル日航 ハウステンボス ロビー	無料	ホテル日航 ハウステンボス
ホテルニュー長崎 開業25周年記念イベント 出演: 中西弾・藤木修爾・菅家恭子・前田純美加・齊藤享・中原大幾・ 太田さあり・クリビタ恵美子 (Vn), 長嶋拓生・池田文子・ 川口千穂 (Va), 田辺清士・下田直子 (Vc), 龜子政孝 (Cb), 濱砂由美子 (Fl), 樋口芳美 (Cl), 池田祐希 (Fg)	7月29日(月) 開演時間未定	ホテルニュー長崎 3F鳳凰閣	詳細未定	ホテルニュー長崎
OMURA ミュージック・キャンプ 講師: 松原勝也 (指揮), 原田慎夫 (Vc), OCE	8月7日(水) ～ 8月9日(金)	大村市民会館 シーハットおおむら	詳細未定	NPO法人 OMURA室内 合奏団
OMURA ミュージック・キャンプ コンサート 出演: 松原勝也 (指揮), ジュニアオーケストラ, OCE	8月10日(土) 開演時間未定	シーハットおおむら ・さくらホール	詳細未定	
福江文化会館コンサート 出演: 中西弾・前田純美加・太田さあり・齊藤享・中原大幾 (Vn), 池田文子 (Va), 田辺清士・下田直子 (Vc), 龜子政孝 (Cb), 濱砂由美子 (Fl), 樋口芳美 (Cl), 種口敬明 (Fg)	9月7日(土) 開演時間未定	福江文化会館	詳細未定	福江文化会館
OMURA POPS コンサート 出演: 中西弾・前田純美加・太田さあり・齊藤享・中原大幾・ 松本さくら (Vn), 長嶋拓生・池田文子 (Va), 田辺清士・ 下田直子 (Vc), 龜子政孝 (Cb), 永留結花 (Fl), 花田朋子 (Ob), 樋口芳美 (Cl), 種口敬明 (Fg), 古賀敦子 (Trp), 富田篤 (Perc), 鹿取泰子 (Pf)	10月12日(土) 開演時間未定	シーハットおおむら ・さくらホール	詳細未定	(財)大村市 振興公社
スクールコンサート in 島原市 出演: 齊藤享・川口千穂・前田純美加・松本さくら (Vn), 池田文子 (Va), 田辺清士・下田直子 (Vc), 龜子政孝 (Cb), 永留結花 (Fl), 坂口直子 (Cl), 池田祐希 (Fg)	11月11日(月) ～ 11月15日(金)	島原市内の 5中学校	学校関係者のみ (生徒・保護者等)	(財)長崎県 教職員互助 組合
OMURA室内合奏団 第2回クリスマスパーティー 出演: 菅家恭子・川口千穂・前田純美加・太田さあり・齊藤享・ 松本さくら・中原大幾 (Vn), 池田文子・鈴木優子 (Va), 田辺清士・下田直子 (Vc), 龜子政孝 (Cb), 濱砂由美子 (Fl), 樋口芳美 (Cl), 池田祐希 (Fg)	12月9日(土) 18:00～	ホテルニュー長崎 3F鳳凰閣	詳細未定	OMURA室内 合奏団を 支援する会
第5回長崎演奏会・第17回定期演奏会 出演: 松原勝也 (指揮・Vn), 益田正洋 (G), OCE 曲目: ロドリーゴ／アランフェス協奏曲ほか	12月20日(金) 18:30開演 (18:00開場)	第5回長崎 (全席自由) 長崎市民会館 文化ホール	大人 3,500円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増)	(財)大村市 振興公社 ／ NPO法人 OMURA 室内合奏団
	12月21日(土) 14:00開演 (13:30開場)	第17回定期 (全席指定) シーハットおおむら ・さくらホール	会員先行発売 9月10日(火)	

●なお、出演者は事情により変更になることがありますので、事前にご確認ください。 ●問い合わせはすべてOMURA室内合奏団事務局まで (TEL: 0957-20-7207)

集合!!五島の真ん中「奈留島」で、オーケストラコンサート ● 2/27(水) 奈留島離島開発総合センター

海が育む、人がつながる豊かな島

まだ寒さが残る2月末、13名で奈留島へいきました。合奏団と奈留島のご縁は2年前のORCしまの夢飛行コンサートから。愛に溢れた温かい人々、豊かな自然、美味しい食べ物…どれをとっても本当に素晴らしい、奈留島2回目の私ですが、とても大好きなところです。

コンサートの日は、お天気にも恵まれ、会場は溢れんばかりの人で、立見で聴いてくださった方もいらしたほどでした。演奏会では、クラシックの名曲や日本の歌、ヴァイオリンのソロなどのプログラムでしたが、温かいお客様に囲まれ、本当に幸せな時間でした。

ユーミンが作った奈留高校の愛唱歌『瞳を閉じて』を演奏した際は、会場の皆様も歌って下さり、会場が一つになったのを感じました。合奏団へのお礼にと地元合唱団による『奈留島讃歌』に胸を打たれ、驚きの大きさの舟盛の登場にも団員一同大盛り上がりでした。

今回の演奏会で、“海が育む、人がつながる豊かな島”奈留島はOMURA室内合奏団にとってますます大切な場所となりました。

池田祐希（ファゴット）



左から、
永留結花（フルート）
樋口芳美（クラリネット）
池田祐希（ファゴット）
亀子政孝（コントラバス）

箏と弦の出会い 吉村七重&OMURA室内合奏団

● 3/2(土) シーハットおおむら・さくらホール



田村法子（箏）と田辺清士（チェロ）

和楽器との共演

私の中の「和楽器」は繊細でやわらかい音色、音量もそんなに大きくないのでは?などと勝手にイメージしておりましたが、今回、箏とチェロの二重奏という珍しい曲を演奏させていただき、この考えは

一瞬で吹き飛ばされてしまいました。繊細でやわらかい音色はもちろん出ますが、ピアノよりも音量が出るのでないかと思えるくらい輪郭のはっきりとした力強い音!私のチェロの音なんていとも容易く消し去ってしまうほどで、奏者の田村法子さんに色々とお願い事をしてやっとバランスを調整できるといった具合でした。

楽器からのみでなく奏者の田村さんから発せられるパワーの凄まじい事…。箏って物静かに座って弾くものでは無かったのです。確かに座って演奏できるように椅子は置いてありましたが、時に腰を浮かせ全身を使いまだまな音を表現していました。

和・洋といったジャンルなど関係なく、全身を駆使することにより素晴らしい音楽が生まれるということを間近にして、自分の演奏にも生かすことが出来ればと改めて考えた良い機会でした。

田辺清士（チェロ）

長崎県美術館「クリムト展」 ● ウエルカムコンサート

2/23(土) クラリネット（樋口芳美）、チェロ（下田直子）
3/9(土) ヴァイオリン（川口千穂）、チェロ（下田直子）
3/30(土) フルート（濱砂由美子）、ヴァイオリン（中西弾）

19世紀末のウィーン

ウィーン出身のクリムトの代表作、「黄金の騎士」は作曲家マーラーがモデルともいわれています。またベートーヴェンの第九を解釈した「ベートーヴェン・フリーズ」という作品もあります。それらにちなんで、期間中の3回のウエルカムコンサートでは、マーラーやベートーヴェン、ウィーン出身の作曲家達の曲を取り上げました。私は、うち2回出演。19世紀末ウィーンに思いをはせて演奏しました。また、期間中に館内カフェでいただいたウィーンスイーツプレートとウインナーコーヒーの美味しかったこと。目と耳とお口でクリムトが生きたウィーンを楽しんでいただけたお客様も多かったのでは。



▲クリムトスペシャルケーキ



川口千穂（ヴァイオリン）と下田直子（チェロ）

またトーク&コンサートが3月16日（土）美術館2Fホールで開かれ、村嶋監督のトークと合奏団メンバー等の演奏では超満員。建石さんはじめ美術館スタッフの皆さんありがとうございました。

下田直子（チェロ）

地域に愛され、ファン開拓を



10年ほど前、OMURA室内合奏団が発足すると新聞で知りました。当時まだ就職しておらず、長崎市で家業の手伝いをしていました。

「なんで、大村にプロのオーケストラが？」

不思議に思う反面、大村市民をうらやましく感じました。中学生のころからバンドをしていたため、音楽はロック中心でしたが、アルカスSASEBOでたまたま観たオペラ「魔笛」にすこぶる感動し、クラシックにはまり始めたころでした。

それから今の仕事に就き、昨年、大村支局に赴任しました。OMURA室内合奏団に身近に触れられることは楽しみの一つです。昨年は市民ミュージカル「光る海」の企画・演奏がとても印象に残っており、出演者と観客の一体感、合奏団の今後の可能性を感じました。「大村だけではもったいない。各地で公演すべきだ」と思いました。

全国的にオーケストラを取り巻く環境は厳しいといわれて

います。趣味や音楽が多様化し、クラシック離れ、ファンの高齢化も進んでいるといわれています。私は33歳ですが、音楽教育を受けた人以外でクラシック好きの同世代はたしかに少ないです。人口も減少します。地方はなおさら厳しいでしょう。

地方のオーケストラが発展していくにはどうしたらいいのでしょうか。やはり地域に愛され、ファンの裾野を広げることに尽きると思います。たとえば小中学校の音楽の授業の中で、OMURA室内合奏団を活用できないか。コンサートではファンのリクエストシリーズ、クラシック以外にも映画音楽特集、この前ジャズアルバムを出した八代亜紀さんとのコラボなどはどうか。素人考えで恐縮ですが、こうやっていろいろ想像できるのも合奏団あってこそ。その存在があります。

田賀農 謙龍
(長崎新聞 大村支局長)

～ホヘ番日記～

『レ・ミゼラブル』

話題の『レ・ミゼラブル』を観た。宣伝文句的にいえば「人が困難な人生を生きるのに必要なのはなによりも愛と信頼であること、理想のために戦い倒れても精神を受け継ぐ者があることを壮大に謳い上げている」ミュージカル映画。トイレに行くのをひたすら我慢しての息もつかせぬ2時間45分だった。

時は、ナポレオン帝政後の革命反革命の嵐渦巻く混沌深き、19世紀初頭のフランス。原作者のビクトル・ユーゴーは、日本でいえば森鷗外クラスのフランスの大文豪である。ドイツマン派として、メンデルスゾーンが活躍した時代だ。

印象に残ったのは、主人公ジャン・バルジャンでも、娼婦に身を落とすファンティースでもその娘コゼットではなく、マリウスへの叶

わぬ恋を貫くエポニーヌだった。この役、ぜひ壇蜜にやらせたい。それと銃弾に倒れる浮浪児ガヴロッシュ。87年の日本初演の舞台で、山本耕史が演じた役だ。実は村嶋さんも同じ舞台に立っている。ちなみにこの時のエポニーヌ役は島田歌穂だった。

映画は素晴らしい。200年前のフランスを再現してくれる。人は死んでも芸術は永遠に残る。音楽もまた同じである。合奏団ができる10年。しかし、意外の言葉になぞらえれば、「OMURAはまだ普請中である」。第2楽章はこれから。『レ・ミゼラブル』で流れた歌をOMURAでぜひ聴いてみたいものだ。

私は運命の糸に引き寄せられ、この3月から正式に合奏団に関わることになった。あし毛の老馬だが、足も気分も意外と軽い。なので、演じるならバリケードで『民衆の歌』を口ずさむ少年ガヴロッシュをやりたい。

江口 満 (ビジネスアドバイザー)

NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお誘い下さい。
10周年で「通信」もリニューアルしました。いろんなご意見をお寄せ下さい。

～ご支援ありがとうございます～

(3月15日現在) 法人会員数 57、個人会員数 227 人

編集
後記

黄昏時、海風が花の香りを運んできました。
定期演奏会の頃には新緑の香りになっているでしょう。結成10年は新たなはじまりの時、今後とも応援よろしくお願ひいたします。(尚)